

編集を終えて

土木学会略史 1994-2004 は、土木学会の創立 90 周年記念事業の一環として刊行が計画され、篠原委員長の下、編集委員会で 2003 年から編集作業を開始した。2004 年 11 月の 90 周年記念事業の際に CD-ROM 版を制作配布し、今回ようやく書籍版の上梓にこぎつけたものである。本来であれば昨年 11 月に CD-ROM 版と同時に刊行すべきものであったが、編集時間があまりにも短かったこともあって CD-ROM 版の制作を優先したものである。当初の予定では、CD-ROM 版の制作後、直ちに書籍版の制作に取りかかるはずであったが、CD-ROM 版の再校正と書籍版への割付作業に思いの外時間を要してしまい、半年以上も刊行が遅れることになったことは幹事長として責任を痛感する次第である。

CD-ROM 版、書籍版を通じて、土木学会の事務局長を務められた、五老海・松尾両氏に、原稿全体を通して様々なご指摘を頂くとともに、いくつかの記述漏れについては原稿を補完して頂いた。このことに対して深く謝意を表する次第であるが、略史の制作に関する責任の所在は編集委員会および幹事会にあることは言うまでもないことである。

今回、書籍版が完成して改めて全体を通読してみると、制作当初に目論んだことが必ずしも充分に実現できていないことについて、内心忸怩たる思いである。また、「土木學會の 80 年」の岡本氏のあとがきに指摘にある、整合性に欠ける記述については残念ながら今回も各部門および各支部の記述において散見される結果となってしまった。また、正確な資料の保存とデータベースの整備はこれまた残念ながら 100 年史に譲らざるを得なかった。しかしながら、篠原委員長の巻頭言に記されているとおり、この激動の 10 年間に記録する略史としては、巻頭の会長インタビューや高橋先生の総括がその役目を十分に果たしていると秘かに自負するものである。

最後に、本略史完成にあたっては篠原委員長を始めとする委員の先生方、学会事務局とりわけ幹事の方々の献身的な作業なくしてはこの本の完成はなかったことをここに明記して、深甚なる謝意を表するものである。

2005 年 6 月

土木学会創立 90 周年記念事業実行委員会

略史編集委員会

幹事長 高松 正伸